令和８年度クリーニング師試験（技能筆記試験）問題

試験問題は、試験係員の指示があるまで開けてはいけません

■ 日　　時／令和８年 11 月７日（土） 13 時 00 分～13 時 10 分（10 分間）

■ 注意事項について

- 試験中は、試験係員の指示に従ってください。
- 試験中に他の人と話をしたり、のぞき見や不正行為のあった場合は、直ちに退場を命じます。
- 試験中は、携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ、スマートグラスなどの通信機器は、必ず電源を切って、カバンの中にしまってください。試験中、通信機器の操作を行った場合は、不正行為とみなして失格とします。
- 通信機能のない時計の使用は認めますが、音が出ないように設定し、机の上に置いてください（腕時計も外してください）。
- 試験中にトイレに行きたくなった場合や衣類を着脱する場合、また、水分補給をする場合は、手をあげて試験係員の指示に従ってください。
- 試験中に気分が悪くなった場合は、手をあげて試験係員に申し出てください。
- 試験問題は持ち帰り自由です。

■ 問題及び解答について

- 問題は、全部で 10 問、試験時間は 10 分間です。
- 繊維の鑑別は、外観、手触りで鑑別を行ってください。
- 技能筆記試験終了後、技能実技試験を実施するため、途中で退室することはできません。
- 筆記用具は、鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
- 解答用紙に受験番号及び氏名を忘れずに記入してください。
- 問題は、「選択問題」と「○×問題」が混在しています。設問をよく読み、解答してください。
- 問題の答えは、解答用紙に記入してください。１つの問題に２つ以上の解答を記入した場合は無効となります。

※　解答用紙への記入例は、右のとおりとなります。 →

問1	（ア） ③
問2	3

福島県

問１　次の図は、日本産業規格（ＪＩＳ Ｌ0001：2024）で定める表示記号を示したものである。（ア）及び（イ）の表示記号の意味を選択肢の中から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

（ア）	（イ）
	

〔選択肢〕

①塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。
②塩素系漂白剤による漂白処理ができるが、酸素系漂白剤による漂白処理はできない。
③酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。
④漂白処理はできない。
⑤つり干し乾燥がよい。
⑥ぬれつり干し乾燥がよい。
⑦平干し乾燥がよい。
⑧ぬれ平干し乾燥がよい。

問２　次の「(A) しみ抜き剤」と「(B) しみ抜き剤の用途」を示した３つの組み合わせについて、正しいものはいくつあるか、その数を解答用紙に記入しなさい。組み合わせが全て誤りであると判断した場合は「０」を記入すること。

（A）酢　　酸　――――――　（B）たんぱく系のしみ抜き

（A）アンモニア水　――――――　（B）タンニン系のしみ抜き

（A）シ ュ ウ 酸　――――――　（B）サビ取り

問３　次の文について、正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

１　皮脂、タール及びグリースは、油性汚れである。

２　しみ抜きは、（１）油性処理、（２）水溶性処理、（３）酸化漂白処理、（４）還元漂白処理、（５）酵素処理の順に処理を進め、処理の効果が認められるものについては、その処理を徹底して行う。

問４　あなたの前にある繊維を見分けて、その番号を解答用紙に記入しなさい。

【繊維鑑別問題】